※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 106 |
|---|---|

# 令和８年度　公民科

| 教科 | 公民 | 科目 | 政治・経済 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「政治・経済」　（東京書籍） | | | | | | |
| 副教材等 | 最新図説　政経 2026　（浜島書店） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

まずは、教科書の内容を理解することが大切ですが、「政治・経済」の学習をきっかけに、世の中で起こっている出来事に関心を持ってください。新聞の記事やＴＶのニュースが理解できるようになると、「政治・経済」への興味も高まることと思います。また、知識の内容も、社会に出た後で役に立つものが多いです。将来のことも見据えて、意欲的に学習に取り組んでください。

## ２　学習の到達目標

社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。

(3) よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 | 合意形成や社会参画に向け、国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に構想したり、社会の在り方などについて構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断したり、表現したりしている。 | よりよい社会の実現のために、国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。<br>知識および技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行うなかで、自らの学習を調整しようとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 一学期 | 現代日本の政治 | 民主政治の基本原理<br>民主政治の成立<br>法と民主政治<br>基本的人権の確立<br>現代の民主政治<br>世界の主な政治体制<br>日本国憲法の基本原理<br>日本国憲法の制定と基本原理<br>基本的人権の保障 | a:民主政治の成立過程や基本原理、日本国憲法の成立過程や基本原理に関する事項を理解している。提示された資料から、その資料が示す問題点を適切に読み取ることができる。<br>b:教科書に提示されるいくつかのトピックについて、協働的に考察することを通して、自分なりの考えや判断を適切に表現できる。<br>c:よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察をもとにして、知識や理解をより深めようとしている。 | 定期考査<br>提出物 | 定期考査<br>提出物<br>振り返りシート | 活動の観察<br>提出物<br>振り返りシート |
| | 現代日本の経済 | 日本の政治機構<br>平和主義<br>国会と立法<br>内閣と行政<br>裁判所と司法<br>地方自治<br>現代政治の特質と課題<br>戦後政治と政党<br>選挙と政治意識<br>世論と政治参加<br>現代の資本主義経済<br>経済活動の意義<br>資本主義経済の発展と変容 | a:日本の政治機構、戦後政治の推移と諸課題、資本主義経済の発展に関する事項を理解している。提示された資料から、その資料が示す問題点を適切に読み取ることができる。<br>b:教科書に提示されるいくつかのトピックについて、協働的に考察することを通して、自分なりの考えや判断を適切に表現できる。<br>c:よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察をもとにして、知識や理解をより深めようとしている。 | 定期考査<br>提出物 | 定期考査<br>提出物<br>振り返りシート | 活動の観察<br>提出物<br>振り返りシート |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 二学期 | 現代日本の経済 | 現代経済の仕組み<br>経済主体と経済の循環<br>生産のしくみと企業<br>市場経済の機能と限界<br>国民所得と経済成長<br>金融の仕組みと機能<br>財政の仕組みと機能<br>日本経済の発展と現状<br>戦後日本経済の発展<br>日本経済の現状<br>福祉社会と日本経済の課題<br>公害と環境保全<br>農業・食料問題<br>中小企業の現状と課題<br>情報化の進展と社会の変化<br>消費者問題 | a:日本経済の基本的な構造、戦後経済の推移と諸課題に関する事項を理解している。提示された資料から、その資料が示す問題点を適切に読み取ることができる。<br>b:教科書に提示されるいくつかのトピックについて、協働的に考察することを通して、自分なりの考えや判断を適切に表現できる。<br>c:よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察をもとにして、知識や理解をより深めようとしている。 | 定期考査<br>提出物 | 定期考査<br>提出物<br>振り返りシート | 活動の観察<br>提出物<br>振り返りシート |
| | 現代日本の諸課題 | 雇用と労働問題<br>社会保障と福祉<br>少子高齢社会における社会保障<br>地域社会の活性化<br>多様な働き方・生き方の実現<br>中小企業の意義と課題<br>日本の財政の健全化<br>持続可能な食料・農業の実現<br>防災と安全・安心な社会の実現 | a:日本経済の諸課題、国際政治の構造と諸課題に関する事項を理解している。提示された資料から、その資料が示す問題点を適切に読み取ることができる。<br>b:教科書に提示されるいくつかのトピックについて、協働的に考察することを通して、自分なりの考えや判断を適切に表現できる。<br>c:よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察をもとにして、知識や理解をより深めようとしている。 | 定期考査<br>提出物 | 定期考査<br>提出物<br>振り返りシート | 活動の観察<br>提出物<br>振り返りシート |
| | 現代の国際政治 | 国際政治の仕組み<br>国際政治の特質<br>国際社会と国際法<br>国際連合の役割と課題<br>複雑化する国際政治と日本<br>戦後国際関係の展開と日本<br>冷戦後の国際関係と日本<br>地域主義の動き | | | | |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 三学期 | 現代の国際政治<br>現代の国際経済<br>国際社会の諸課題 | 軍縮の動向と課題<br>紛争・難民・テロリズム<br>国際社会における日本の役割<br>国民経済と国際経済<br>貿易と国際収支<br>戦後国際経済体制の展開<br>発展途上国の経済<br>世界経済の現状と課題<br>グローバル化する世界経済<br>地球環境問題<br>資源・エネルギー問題<br>人口・貧困・感染症<br>グローバル化にともなう社会変容<br>地球環境と資源・エネルギー問題<br>国際的な経済格差の是正<br>イノベーションの促進と成長市場<br>民族問題と紛争の解決<br>持続可能な社会の実現 | a:国際経済の構造と諸課題、国際社会の諸課題に関する事項を理解している。提示された資料から、その資料が示す問題点を適切に読み取ることができる。<br>b:教科書に提示されるいくつかのトピックについて、協働的に考察することを通して、自分なりの考えや判断を適切に表現できる。<br>c:よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察をもとにして、知識や理解をより深めようとしている。 | 小テスト<br>提出物 | 定期考査<br>提出物<br>振り返りシート | 活動の観察<br>提出物<br>振り返りシート |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度